

やすらぎ



医療法人社団 芙蓉会

ふよう病院

芙蓉ミオ・ファミリア町田

グループホームあおぞら

デイサービスふれあいルーム

千葉芙蓉病院

きゃらの樹ケアセンター

芙蓉会

理事長挨拶

医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ヶ所 大

先日の台風 10 号の被害は甚大で、今なお孤立している方も多いとお聞きします。亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈申し上げます。

今年の 4 月には熊本地震も発生し、否応なしに災害への恐怖を改めて認識させられる次第です。特に岩手県のグループホーム入所の方々の訃報の知らせは、高齢者の方々をお預かりする同業と致しましては、悔しい限りです。災害を防ぐことはできませんが、同じ被害を繰り返さないように、災害・防災対策に努めたいと思います。

現在、町田の法人内部におきまして、職員全員参加の危機管理の研修に取り組んでおります。昨年発生した高齢者施設における転落死を契機に、不適切ケア及び虐待の予防対策が、早期に必要なとの考えからです。取り組み中ではありますが、対策における初動対応の重要性という点では、災害・防災についても、同様であります。また、何か問題が発生した時に、早期発見、早期着手するという点においては、法人内に発生する可能性がある、問題やミス等、全てにおいて同じ



考え方で対応する必要性があるわけです。

私も立場上、発言する機会が多く言葉の一つひとつに責任を持って対応しておりますが、現状では何が足りないのか、そして同じ失敗を繰り返さないためには何が必要なのか。各々で真剣に考えていただき、現場での職務に活かしていただきたいと強く願います。

今年度の目標の中で、各職種、各部署における連携とコミュニケーション強化を訴えておりますが、スタッフ全員が一丸となり、地域に根差した運営を目指してまいります。

「老人は国の宝」

医療法人社団 芙蓉会 (事業所一覧)



- ・ふよう病院
- ・芙蓉ミオ・ファミリア町田
- ・グループホームあおぞら
- ・デイサービスふれあいルーム
- ・千葉芙蓉病院
- ・きゃらの樹ケアセンター
- ・千葉芙蓉ハーモニー
- ・千葉芙蓉ステーション

閉じ込め症候群

医師 岩淵 定 (神経内科・脳卒中専門医)

これまでに経験した病気の中から、思い出深い病気の一つをご紹介します。と思います。

閉じ込め症候群という脳卒中があることを、皆様はご存知でしょうか。この脳卒中は、フランスの文豪アレクサンダー・デュマによって1844年に初めて報告されました。どのような脳卒中なのか、それは彼の小説「モンテ・クリスト伯（巖窟王）」の中に記述されていますので、それをお読みになるのが一番です。

以下は山内義雄訳本「新版世界文学全集 新潮社（現在絶版）」の一説のその一部です。

『ノワルティエ老人は、脚に車を取りつけた大きな安楽椅子に掛けていた。朝になるとそこに据えられ、晩になるとそこから移してもらった（中略）。すでに四分の三は墓に入りかけているこの生ける屍にとって、視覚と聴覚、この二つの感覚だけが（中略）わずかに生気の残っていることをしめした。そしてこの二つの感覚だけが、この彫像を生かしている所の内部生命を外へあらわす役をつとめていた。（中略）こうした気の毒な中風の老人（中略）…』

ノワルティエ老人とはモンテ・クリスト伯が無実の罪でシャトー・ティフに幽閉したヴィルフォール検事の父親で、彼は遺言状を残すことになるのです（第五九章遺言）。

『「つまり証言が有効であるために必要なことが満たされてなければなりません」と公証人が答えた。「つまり、賛否についての確認ですな。…」「そういうことでしたら、たった二つの合図だけで、お祖父さまがいま、いつにもましておつむりのしっかりしておいでのごことがおわかりいただけます。お声の出せない、お身体を動かさないお祖父さまは、そうだというときには眼をつぶってお見せになり、ちがうというときには幾度もまばたきをしてお見せになります。…」「ただいまお孫さんがおっしゃったことをお聞きになりましたか？…」と公証人がたずねた。老人はしづかに目を閉じてみせたあとで、しばらくしてそれを開けてみせた。…』こうして老人は遺言を書きあげます。

この老人は覚醒しているが、彼の眼を除いては意思を伝達する能力はすべて失われている。無言無動で生きた眼をもった死骸なのである。

このような脳卒中の存在が医学的に確認されるのには、その後126年という年月が必要でした。この脳卒中は橋底部腹側の梗塞病変で起こります。はからずも、この病気の日本での最初の発見者となる幸運にも恵まれ、私にとっては忘れられない病気になっています。



地域連携室 室長 佐久間 康行

「地域連携」には様々な社会資源が含まれ、その中でも①医療機関②介護サービス事業所③居宅介護支援事業所④行政関係⑤近隣住民に向けた対応が多くなっています。

具体的な例をご紹介しますと、

- ①医療機関については、MSW等が患者様に紹介するために見学で来院された時の対応や相談室と挨拶回りを行い、当院への期待やご意見を伺ってきます。
- ②介護サービス事業所と③居宅介護支援事業所については、お客様の紹介を頂くことだけではなく、先方の事業所が私達に望んでいることへの対応も行い、相互にメリットがある関係作りを目指しています。
- ④行政関係については、地域密着サービスは町田市管轄で行政との距離が近く、指導も熱心なため書類提出や報告等を正しく行うための運営基準等の質疑、町田市審議会等の公開している会議の傍聴、高齢者支援センターで開

催する地域ケア会議に参加等を行っています。

- ⑤近隣住民については、隔月日曜日に開催する南町田福祉ネットワーク連絡会への参加、法人が行う地域貢献活動時に院長先生をはじめ皆様のご協力をいただきながら開催準備等を行っています。（日頃の関係作りは地域と共生を目指しているグループホームが主に担っています）



以上は活動の一部ですが、分野に幅がありません。地域包括ケアシステムの動きが進む中で、芙蓉会の位置づけを高めることを心がけたいと思います。

また、法人内の各部署との連携（施設系と在宅系、在宅系同士）の連携強化も必要ですので、コミュニケーションを図りながら対応をしてきたいと思います。今後共皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

院内職員研修会報告「結核について」28年7月開催
3病棟『排泄ケア時の対応』、ミオ・ファミリア『入居者のご家族への対応』

<内容>

- ①上記のテーマで場面設定しロールプレイング
- ②グループワーク
- ③感想を発表

<意見>

＝ C棟3Fの発表に対して ＝

- *良い点と悪い点が比較できて良かった。
- *患者の立場にならないとわからない。乱暴に扱われるのは恐かった。
- *毎日ケアしている事で慣れてしまっているかも。気をつけたい。
- *悪いケースを見て常日ごろ気をつけたいと思った。

＝ ミオ・ファミリアの発表に対して ＝

- *ご家族の前で、大声で排泄についての話は良くない。
- *雑談は仕事のミスに繋がるので良くないと思った。



*ついやってしまいがちな事を表現したかった(演技者)

<総評>

様々な事例をロールプレイングで見る事によって日々の業務を客観的に振り返る事ができます。この様な研修を重ね、患者様やご家族への対応が向上していくように努力していきたい。

院内職員研修会報告「危機管理研修」
28年8月開催 発表者：川原経営 新井結花

<内容>

1. 介護保険での療養病床とは
2. 医療機関・福祉施設に求められる安全体制とは
 - ・リスクマネジメントの視点
 - ・コンプライアンス
3. 危機管理に対する職員の意識向上
 - ・安全管理への取り組みが指定基準度により義務付け
 - ・リスクに関する意識の向上
 - ・高齢者虐待防止法とは
 - ・高齢者虐待の定義
 - ・高齢者虐待防止と身体拘束廃止の関係性
4. 健全な職場環境を作るために

<まとめ>

日々職務を遂行する中で見つかるインシデント、アクシデントは、発見した職員だからこそ発信できるキーワードがある。明確な報告で事実を皆が共有することで、重大事故は防ぐことができる。

危機管理は、職員一人ひとりが遂行すべき重要な取り組みであり、初期対応を確実に行うことで、法人・患者様・ご利用者のみならず、自分自身を守ることにもつながる。



ミオ・ファミリア町田 イベント報告

フルーツバイキング

7月4日（月）のおやつは、フルーツバイキングを開催いたしました。彩りよく豪華に盛り付けられたフルーツの数々。昨年よりバージョンアップされており、栄養科手作りのメロンの

ババロアも大好評でした。皆様、食べるのがもったいないとおっしゃいつつ、ぺろりとお召しあがり。夏らしい楽しいひと時を過ごしていただきました。



夏祭り

7月22日（金）毎年恒例の芙蓉ミオ・ファミリア町田夏祭りを開催いたしました。輪投げをして景品をもらい、スイカ割りで楽しんだ後は、スイカ、焼きそば、かき氷を参加いただいたご

家族様と一緒に召し上がっていただきました。意外にも、皆様に大好評だったのは、焼きそば。ご入居の皆様には、ソース焼きそばが珍しくも恋しい味だったようです。



花火

7月31日(木)夏の風物詩の花火大会が行われました。本当は29日に行う予定でしたが台風の影響で31日に延期に。29日のおやつは、花火に因んで、一つひとつ手作りの打ち上げ花火飾りがついたアイスクリーム。素敵な飾りつけに皆様

喜ばれて、お部屋に持ち帰られたほどでした。

ブーメラン台風が去り、朝から晴天で陽が落ちるのが待ち遠しかった31日。手持ち花火や噴き出し花火を楽しんでいただきました。夏はやっぱり花火ですね。



医療法人社団芙蓉会 **芙蓉ミオ・ファミリア町田**

見学随時受付中



〒194-0004 東京都鶴間 544-2

TEL 042-788-3310 FAX 042-788-3312

グループホームあおぞら イベント報告

ホームのランチにご招待

ホームの昼食は、スタッフとご入居者とで一緒に作り、一緒に食べます。毎回おいしいお食事ばかりです。せっかくみんなで作った手作りランチなので、6月から週に1度、隣接する医

療法人の職員の方達をお招きして一緒に昼食を食べる機会を設けました。「おいしかった。また来ますね。」と、好評です。



好きなこと

Yさんは、エンジニアのお仕事をされています。手先が器用で、色々なものに興味を持っています。Yさん。この日はあまり触ったことがないとおっしゃいながら、パソコンを手をにされていました。

Kさんは、お茶の先生です。月1回、近隣住民の方達にご参加いただいている、ホームで開くお茶会は、早くも4年目を迎えました。



毎日、子供たちと

ホームの隣には、職員用の託児室（0～6歳が利用）があります。天気の良い日は、子ども達が午前中、ホームの中庭で遊んでいます。ご入居者も中庭に出て、一緒に過ごします。小さな子ども達とのふれあいは、皆様を笑顔にしてくれます。



原町内会夏祭り

今年も原町内会夏祭りに参加させていただきました。町内会の方達にご配慮いただき、車の乗り降りも手伝っていただきました。町内会の

皆様に、心より感謝申し上げます。

盆踊りの輪に加わって、楽しいひと時を過ごせました。



にわのボランティア隊より



6月末の植え付け以来、日々育ててきた花壇は、いよいよコンクールを迎えます。

秋の訪れ

ススキ、稲穂、シコンノボタン、曼珠沙華、桜の落葉。暑さの中に、少しずつ秋の知らせを見つけることができます。

香り

中庭に金木犀の香りが流れはじめます。小さな花から漂う香り、どこか懐かしい気持ちにさせてくれませんか？

この時期に楽しめる花々

- 屋上花壇
- 金木犀
- 曼珠沙華
- ススキ
- 稲穂

その他、季節の花々を育てています。どうぞ中庭へおいで下さい。



医療法人社団芙蓉会 **グループホームあおぞら** ・見学随時受付中・



東京都町田市鶴間 544 (ふよう病院内)
 TEL/FAX 042-795-2634
 E-mail aozorafuyou@fuyou.or.jp
 URL www.fuyou.or.jp/machida_aozora

デイサービスふれあいルーム イベント報告

フラワーアレンジメント

7月6日、フラワーアレンジメントを行いました。花の配置や色合い、組み合わせを考えながらの作業は脳を活性化させると言われています。皆様、真剣に取り組まれ、個性豊かな作品ができました。



ちびっこ軍団とのふれあい

託児室の「ちびっこ軍団」との温かい交流！散歩の途中でふれあいルームに立ち寄ってくれます。



七夕&ボーリング大会

7月7日は彦星と織姫が1年に1度会うドラマチックな日です。ふれあいルームではこの日、七夕祭り&ボーリング大会を行いました。ボーリング大会は5位まで景品が出るため、タイミングを図りながら真剣な表情で投球されていたご利用者の皆様。結果はストライクやガーター等さまざまでしたが、とても楽しんでいらっしゃいました。年齢別のスタッフ対決もあり、熱い声援を受けて、大会はピークに。

お昼には、梅ご飯が食欲をそそる七夕膳をご提供しました。

今後も日頃の生活リハビリを意識しながら、皆様に喜んでいただけるイベントを企画していきたいと思っております。



ふれあい夏祭り

8月8、9日の2日間、夏祭りを開催いたしました。

今回は、初めての試みとして2日間続けてのイベントでした。皆様は、協力して作りあげた提灯や花の飾りが賑やかで、職員の浴衣や法被、ハチマキがお祭り気分をさらに盛り上げました。

出店はヨーヨー釣り、たこ焼き、くじ引き、射的、かき氷です。チケットを手に、それぞれのお店を回っていただきました。射的の鉄砲が壊れるアクシデントこそありましたが、懐かしい出店に皆様、声をあげて喜んでいらっしゃいました。

ヨーヨーやくじ引き、射的では、景品をお土産にお持ち帰りいただきました。また、ご利用者の演奏による三味線の音色に合わせて盆踊りもしました。生演奏で踊る盆踊りは一味違うも

のだったのではないのでしょうか。

立ち上がり、一曲を通して踊ってくださる姿に私たち職員も嬉しく、充実した時間を過ごさせていただきました。

飾りやチケット作りで手指を動かし、盆踊りで体を動かしました。懐かしい出店に心躍り、笑顔が見られ、地域の方々のご参加もあり地域交流もできて、皆様で良いお祭りを作り上げることができました。

2日間の開催ということもあり、延べ43名のご利用者にご参加いただきました。たくさんのご参加ありがとうございました。ご家族の皆様、お越しくださった地域の方々にもこの場をお借りして御礼申し上げます。

次回も趣向を凝らしたイベントの企画に努めてまいりますので、ぜひご参加下さいませ。



夏祭りに寄せて

エントランスに、夏祭り定番の提灯をデコレーション。お手伝いいただきました皆様、ありがとうございました。

夏祭りでは、盆踊りの唄を、ふれあいコンサートでは、民謡を披露してくださったご利用者の方々、素敵な音色のプレゼントを、ありがとうございました。拍手喝采でした。



茶話会

今回のコーヒーは、「インド・モンスーン」生豆が黄金色で、独特の苦みと上品な香ばしさを持っています。毎回、コーヒー豆の店「縁の木」さんがコーヒーの産地の特徴や、味の違いを説明して下さった後、皆様でいただきます。

今回のお茶菓子は、インド・モンスーンの苦みに合わせた「みずまんじゅう」でした。次回
の茶話会は9月の最終木曜日を予定しています。
皆様のご参加をお待ちしております。



新入職員紹介

介護職 松島 仁志（まつしま ひとし）

デイサービスで働き始め、レクリエーションが充実していることに驚いています。今までの施設では、できなかったプログラムをご利用者様と一緒にいき、一日の終わりには笑顔でご帰宅されるよう努めていきます。皆様どうぞよろしくお願いたします。



医療法人社団芙蓉会 **ふれあいルーム**

通所介護・認知症対応型 月～土 9:15～16:30
日曜日はお休みです

〒194-0004 東京都町田市鶴間 544-2
TEL 042-788-3302 FAX 042-788-3309

28年6・7月院内職員研修会報告「感染対策～食中毒について～」

発表者 板橋看護師長

＜内容＞

6月24日・7月22日の2日間、感染対策研修会を実施しました。

気温の上昇に伴い食中毒注意報も発令され、特に注意しなければいけない時期です。

食中毒の原因

カンピロバクター 腸炎ビブリオ
サルモネラ菌 黄色ブドウ球菌
ボツリヌス菌 セレウス菌など

予防の原則

「細菌をつけない・増やさない・殺菌する」

そのためには

「手を洗う・食品をよく洗う・十分加熱する」

また、食品を調理した包丁やまな板などから細菌が付着する二次感染にも注意してください。(たとえば、生の肉をつかむ箸と焼けた肉をつかむ箸は別にする、生の肉や魚を切ったまな板で、サラダ等生で食べる野菜を切らない、など)

食中毒がおきた場合

吐き気・嘔吐・腹痛・下痢などの症状があり

ます。時期は、細菌や食べた量により異なります。下痢・嘔吐による脱水には注意が必要です。水・お茶・スポーツドリンクでもよいのですが、WHOでは経口補水液を勧めています。

患者様をお預かりする職員ができる予防として、自己の健康管理はもちろん、食事配膳前・介助前の手洗いや、患者様のベッド周辺の整備(清潔・食物の管理)など、具体的指導も行いました。



千葉芙蓉病院 イベント報告

七夕

6月末より、患者様やご家族の方々をお願いして、短冊に願い事を書いていただきました。願い事の多くは、ご家族への思いや「病気を治したい」などが書かれていました。山から切り出した笹の葉に飾りつけ、皆さんに見ていただき、記念写真を撮りました。願い事が叶いますように。



永年勤続者表彰

(千葉合同)

8月2日今年度の永年勤続表彰が行われました。今回は30年の表彰者はいませんでした。開設から20年を経過したきゃらの樹ケアセンターからオープニング時の職員11名を含む14

名が、また、10年表彰は9人、5年表彰が6人で合計29名が表彰状と金一封を理事長より授与されました。千葉の職員定着率の良さを物語った結果でした。地元の皆さん一緒に働きませんか？



きゃらの樹ケアセンター イベント報告

七夕会

7月7日、七夕に向けて数日前より約 100 名の利用者様の思いが込められた短冊づくりを行いました。職員が一枚一枚の願いが叶うよう祈りながら、笹の枝にしっかり結びつけました。



当日、利用者様 2 名の協力により彦星様と織姫様に変身されました!! フロアで一緒に写真撮影をしました。また、思い出のひとつができました。右は当日の手作りおやつ。



野菜苗のその後

(千葉合同)
左は屋上のトマトで中玉ぐらいですがまだ青いです。ミニトマトはもうそろそろ終わりに近



づきました、右は吹き抜けの野菜ですが、ちよくちよくご利用者が食べるため実はほとんどありません。



医療法人社団芙蓉会 きゃらの樹ケアセンター

〒292-0503 千葉県君津市広岡 375-3
TEL 0439-50-7333 FAX 0439-50-7399